

北海道における感染症発生動向調査について（2020 年）

Report of Infectious Diseases Surveillance in Hokkaido, 2020

市橋 大山 大久保和洋 山口 宏樹 長野 秀樹

Daisen ICHIHASHI, Kazuhiro OKUBO, Hiroki YAMAGUCHI and Hideki NAGANO

Key words : infectious diseases surveillance（感染症発生動向調査）；Hokkaido infectious diseases surveillance center（北海道感染症情報センター）；national epidemiological surveillance of infectious disease（NESID、感染症サーベイランスシステム）

わが国では感染症の発生及びまん延を防止するため、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」（感染症法）に基づく施策として、感染症発生動向調査が行われている¹⁾。本調査事業では、患者を診断したすべての医師が届出を行う全数把握疾患（一～四類感染症、五類感染症の一部、新型インフルエンザ等感染症、指定感染症及び新感染症）及び指定された医療機関のみが届出を行う定点把握疾患（五類感染症の一部）を対象としている（表 1-1、1-2）。2020 年は 2 月 3 日から「新型コロナウイルス感染症」が指定感染症（全数把握疾患）に追加された。

本稿では、2020 年の北海道における全数及び定点把握疾患の患者届出状況をまとめたので報告する。

方 法

対象疾患の感染症情報は、感染症サーベイランスシステム（NESID）の中央データベースに登録されたデータを使用した。2020 年の全数把握疾患は 2020 年第 1 週～53 週に診断された患者等の届出、定点把握疾患（週報）は 2020 年第 1 週～53 週の報告、定点把握疾患（月報）は 2020 年

1 月～12 月の報告データを用いた。また、比較対象とした 2019 年以前のデータについては、全数把握疾患は 2017 年第 1 週～2019 年第 52 週に診断された患者等の届出、定点把握疾患（週報）は 2011 年第 1 週～2019 年第 52 週の報告、定点把握疾患（月報）は 2017 年 1 月～2019 年 12 月の報告データを用いた。なお、新型コロナウイルス感染症については、2020 年 5 月 29 日の「新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム（HER-SYS）」導入以降、NESID に登録されている届出数と実際の発生数に乖離が生じているため、本稿では新型コロナウイルス感染症の報告を見送ることとした。

集計・解析には Microsoft Excel 2016 に加えて、Microsoft Access を基に当所で構築した「北海道感染症情報システム」及び「感染症データ分析ツール」²⁾を使用した。

結 果

1. 全数把握疾患

全数把握疾患の届出状況を表 2-1～2-14 に示した。

表 1-1 感染症発生動向調査の対象疾患数

(2020 年 12 月末現在)

	疾患数
一類感染症	7
二類感染症	7
三類感染症	5
四類感染症	44
五類感染症(全数把握)	24
五類感染症(定点把握)	25
新型インフルエンザ等感染症	2
指定感染症及び新感染症	1
合 計	115

表 1-2 感染症発生動向調査の定点数

(2020 年 12 月末現在)

	対象疾患数	道内の定点数
(週単位)		
インフルエンザ定点	1	222
小児科定点	10	139
眼科定点	2	29
基幹定点	5	23
(月単位)		
性感染症定点	4	42
基幹定点	3	23
合 計	25	478

表 2-1 全数把握疾患 届出数

分類	疾患名	2017 年	2018 年	2019 年	2020 年
二類	結核	695	684	668	634
三類	細菌性赤痢	3	15	8	4
	腸チフス	1	2	2	
	腸管出血性大腸菌感染症	245	193	280	160
四類	E 型肝炎	70	85	69	83
	A 型肝炎	5	8	6	4
	エキノкокクス症	28	20	29	25
	回帰熱	5	6	7	15
	ダニ媒介脳炎	2	1		
	チクングニア熱		1		
	デング熱	3	2	11	
	マラリア	1	1		
	ライム病	9	5	13	24
	レジオネラ症	44	37	65	44
五類	アメーバ赤痢	28	19	20	18
	ウイルス性肝炎（E 型肝炎及び A 型肝炎を除く）	8	13	5	4
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症*4	36	48	60	75
	急性弛緩性麻痺（急性灰白髄炎を除く）*7		2	1	
	急性脳炎*1	30	16	33	14
	クリプトスポリジウム症	10	7	7	4
	クロイツフェルト・ヤコブ病	9	16	8	6
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	12	18	39	35
	後天性免疫不全症候群	34	29	39	22
	ジアルジア症	1	3	3	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症*3	9	23	27	7
	侵襲性髄膜炎菌感染症*3		1	2	1
	侵襲性肺炎球菌感染症*3	101	107	134	53
	水痘（入院例に限る）*4	15	18	21	17
	梅毒	110	136	135	123
	播種性クリプトコックス症*4	1	4	2	2
	破傷風	8	12	9	3
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	5	3		3
	百日咳*6		256	554	151
	風しん*2		29	43	2
	麻しん*2	1	1	6	
	薬剤耐性アシネトバクター感染症*5		2	5	1

*1：ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く

*2：2008 年 1 月 1 日より五類（定点把握対象）から五類（全数把握対象）に変更

*3：2013 年 4 月 1 日より髄膜炎菌性髄膜炎に替わり指定

*4：2014 年 9 月 19 日より追加指定

*5：2011 年 2 月 1 日より五類（定点把握対象）に追加指定、2014 年 9 月 19 日に五類（全数把握対象）に変更

*6：2018 年 1 月 1 日より五類（定点把握対象）から五類（全数把握対象）に変更

*7：2018 年 5 月 1 日より追加指定

表 2-2 結核 診断別届出数

類 型	2017 年			2018 年			2019 年			2020 年		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
患者	268	191	459	228	215	443	208	176	384	211	169	380
死亡者	3		3	2	4	6	1		1	1	2	3
疑似症患者	5	3	8	5	2	7	12	6	18	4	4	8
無症状病原体保有者	95	130	225	83	145	228	114	151	265	93	150	243
合 計	371	324	695	318	366	684	335	333	668	309	325	634

表 2-3 腸管出血性大腸菌感染症 診断別、年齢階級別届出数

		2017 年			2018 年			2019 年			2020 年		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
類型	患者	64	84	148	54	66	120	93	96	189	50	44	94
	無症状病原体保有者	29	68	97	26	47	73	39	52	91	26	40	66
	合 計	93	152	245	80	113	193	132	148	280	76	84	160
年齢階級	0 歳	1		1	1		1				1	2	3
	1～ 9 歳	29	29	58	19	19	38	55	48	103	23	11	34
	10～19 歳	12	19	31	8	27	35	19	13	32	8	7	15
	20～29 歳	8	16	24	13	14	27	18	16	34	12	11	23
	30～39 歳	11	20	31	11	15	26	14	12	26	6	11	17
	40～49 歳	3	10	13	10	5	15	10	16	26	7	11	18
	50～59 歳	5	14	19	2	9	11	1	18	19	4	11	15
	60～69 歳	12	21	33	6	8	14	6	11	17	3	7	10
	70 歳以上	12	23	35	10	16	26	9	14	23	12	13	25

表 2-4 O 血清群別届出数（2020 年）

O 血清群	報告数	
	患者	無症状病原体保有者
1		1
8	1	1
26	8	9
91	2	4
103	3	6
111	10	2
121	1	
124		1
125		1
128		2
145	1	
146	1	1
157	55	18
166		1
86 a		1
不明	12	18
合 計	94	66

表 2-5 溶血性尿毒症症候群発症例（2020 年）

性別	年齢	O 血清群	毒素型
女	13	O157	VT 2
女	13	不明	不明
女	70	O157	VT 2
女	2	不明	不明
男	89	不明	不明

表 2-6 E 型肝炎 診断別報告数、年齢階級別届出数

		2017 年			2018 年			2019 年			2020 年		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
類型	患者	43	17	60	59	17	76	44	15	59	62	12	74
	無症状病原体保有者	8	2	10	7	2	9	8	2	10	8	1	9
	合 計	51	19	70	66	19	85	52	17	69	70	13	83
年齢階級	0 歳												
	1～ 9 歳												
	10～19 歳					1	1	1		1			
	20～29 歳	4	1	5	4		4	2		2	4		4
	30～39 歳	7	2	9	5		5	4	4	8	4	1	5
	40～49 歳	6	3	9	7	5	12	10	3	13	11	1	12
	50～59 歳	15	4	19	13	1	14	14	3	17	13	2	15
	60～69 歳	15	4	19	19	4	23	10	4	14	26	4	30
	70 歳以上	4	5	9	18	8	26	11	3	14	12	5	17
献血で判明と記載があったもの		5	1	6	1	1	2	2	1	3	3	1	4

表 2-7 エキノコックス症 診断別、年齢階級別届出数

		2017 年			2018 年			2019 年			2020 年		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
類型	患者	11	15	26	9	10	19	11	13	24	9	11	20
	無症状病原体保有者	2		2		1	1	3	2	5	2	3	5
	合 計	13	15	28	9	11	20	14	15	29	11	14	25
年齢階級	0 歳												
	1～ 9 歳												
	10～19 歳												
	20～29 歳					2	2	2		2			
	30～39 歳				1	1	2	1	1	2	2		2
	40～49 歳		1	1	1		1	1		1		2	2
	50～59 歳	3	2	5		2	2	2		2	1	2	3
	60～69 歳	3	3	6	2	2	4	2	3	5	2	4	6
	70 歳以上	7	9	16	5	4	9	6	11	17	6	6	12

表 2-8 レジオネラ症 病型別、年齢階級別届出数

		2017 年			2018 年			2019 年			2020 年		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
病型	肺炎型	33	7	40	29	6	35	49	11	60	34	6	40
	ポンティアック熱型	2	2	4	2		2	3	2	5	3		3
	無症状病原体保有者										1		1
	合 計	35	9	44	31	6	37	52	13	65	38	6	44
年齢階級	0 歳												
	1～ 9 歳												
	10～19 歳												
	20～29 歳												
	30～39 歳		1	1				2		2			
	40～49 歳		1	1	3		3	4		4	1		1
	50～59 歳	5	2	7	5		5	7	1	8	8		8
	60～69 歳	13		13	14		14	10	2	12	13	1	14
	70 歳以上	17	5	22	9	6	15	29	10	39	16	5	21

表 2-9 急性脳炎 届出数

病原体	2017 年	2018 年	2019 年	2020 年
インフルエンザウイルス	5	6	16	2
ヘルペスウイルス	4	2	4	2
ロタウイルス	2		1	
ヒトパレコウイルス	1			
RS ウイルス			1	
水痘ウイルス			1	
ヒトメタニューモウイルス		1		
病原体不明	17	7	10	10
合 計	30	16	33	14

表 2-10 急性脳炎 診断月、性別、年齢、病原体（2020 年）

診断月	性別	年齢	病原体
1 月	女	48	インフルエンザウイルス A
	女	1	病原体不明
2 月	女	3	インフルエンザウイルス A
3 月	男	5	病原体不明
	女	3	病原体不明
	男	72	ヘルペスウイルス
4 月	男	70	病原体不明
5 月	男	59	ヒト単純ヘルペスウイルス
	男	3	病原体不明
6 月	女	1	病原体不明
	男	1	病原体不明
9 月	男	8	病原体不明
	女	3	病原体不明
11 月	男	9	病原体不明

表 2-11 後天性免疫不全症候群 病型別、年齢階級別、推定感染地域別、国籍別、推定感染経路別届出数

		2017 年			2018 年			2019 年			2020 年		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
病型	無症候性キャリア	18	1	19	20	1	21	23		23	16		16
	AIDS	15		15	8		8	11	1	12	4	1	5
	その他							4		4	1		1
	合 計	33	1	34	28	1	29	38	1	39	21	1	22
年齢階級	0 歳												
	1～ 9 歳												
	10～19 歳	2		2				1		1			
	20～29 歳	6	1	7	9		9	14	1	15	5		5
	30～39 歳	10		10	7		7	10		10	5		5
	40～49 歳	14		14	9		9	12		12	8		8
	50～59 歳	1		1	1	1	2				2	1	3
	60～69 歳				2		2	1		1	1		1
感染地域 (推定)	日本国内	32	1	33	25	1	26	33		33	15		15
	その他				2		2	3	1	4		1	1
	日本国内またはその他							1		1			
	不明	1		1	1		1	1		1	6		6
国籍	日本	33	1	34	28	1	29	35	1	36	20		20
	その他							2		2	1	1	2
	不明							1		1			
感染経路 (推定)	性行為感染（同性間）	27		27	21		21	27		27	14		14
	性行為感染（異性間）	5		5	4	1	5	6	1	7	3	1	4
	性行為感染（同性間、異性間）				1		1						
	静注薬物使用							1		1			
	不明	1	1	2	2		2	5		5	4		4

表 2-12 侵襲性肺炎球菌感染症 年齢階級別届出数

		2017 年			2018 年			2019 年			2020 年		
年齢階級		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
0 歳		3		3	1	5	6	5	5	10	4	1	5
1～ 9 歳		6	11	17	14	5	19	13	3	16	5	1	6
10～19 歳		1	1	2					1	1			
20～29 歳						1	1						
30～39 歳		1	1	2	1		1		1	1			
40～49 歳		5	1	6	4	2	6		3	3		1	1
50～59 歳		1	2	3	3	4	7	6	1	7	1	2	3
60～69 歳		18	5	23	11	8	19	19	10	29	6	3	9
70 歳以上		27	18	45	29	19	48	47	20	67	17	12	29
合 計		62	39	101	63	44	107	90	44	134	33	20	53

表 2-13 梅毒 病型別、年齢階級別、推定感染経路別届出数

		2017 年			2018 年			2019 年			2020 年		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
病型	先天梅毒	1	1	2									
	早期顕症梅毒（Ⅰ期）	22	11	33	36	7	43	35	8	43	37	9	46
	早期顕症梅毒（Ⅱ期）	29	13	42	30	18	48	26	16	42	18	19	37
	晩期顕症梅毒	1		1		2	2	3		3	3	1	4
	無症状病原体保有者	12	20	32	18	25	43	21	26	47	19	17	36
合 計		65	45	110	84	52	136	85	50	135	77	46	123
年齢階級	0 歳	1	1	2									
	1～9 歳												
	10～19 歳	3	6	9	1	5	6	1	5	6	2	3	5
	20～29 歳	19	22	41	19	28	47	30	26	56	26	29	55
	30～39 歳	11	2	13	23	9	32	21	7	28	16	4	20
	40～49 歳	12	2	14	24	5	29	15	2	17	12	6	18
	50～59 歳	9	2	11	8		8	11		11	12		12
	60～69 歳	4	2	6	4	1	5	3	2	5	4	1	5
	70 歳以上	6	8	14	5	4	9	4	8	12	5	3	8
推定感染経路 (重複を含む)	性行為感染（同性間）	4		4	10		10	14	1	15	10		10
	性行為感染（異性間）	43	27	70	52	36	88	45	32	77	50	28	78
	性行為感染（同性間、異性間不明）	11	5	16	11	7	18	11	6	17	9	9	18
	母子感染	1	1	2									
	輸血				1		1						
	針等の鋭利なものの刺入	1	1	2									
	不明	6	11	17	10	9	19	14	11	25	9	9	18

表 2-14 風しん 年齢階級別届出数

年齢階級	2017 年			2018 年			2019 年			2020 年		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
0 歳												
1～9 歳				1		1		1	1			
10～19 歳				1	1	2		1	1			
20～29 歳				2	5	7	8	12	20		1	1
30～39 歳				9	1	10	8	4	12		1	1
40～49 歳				3	3	6	7	1	8			
50～59 歳				2		2						
60～69 歳							1		1			
70 歳以上				1		1						
合 計	0	0	0	19	10	29	24	19	43	0	2	2

1) 一類感染症

一類感染症の届出はなかった。

2) 二類感染症

結核で634人の届出があり、類型別では、患者380人、死亡者3人、疑似症患者8人、無症状病原体保有者243人(表2-2)、全届出中42人(6.6%、患者7人、無症状病原体保有者35人)が医師、看護師等の医療従事者であった。

3) 三類感染症

三類感染症では、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症の届出があった(表2-1)。

細菌性赤痢は4人の届出があり(表2-1)、推定感染地域はすべて国内(家族内感染2人)であった。

腸管出血性大腸菌感染症は160人の届出があり、類型別では、患者94人(59%)、無症状病原体保有者66人(41%)、年齢は0~89歳であった(表2-3)。O血清群別の届出数では、O157が最も多く73人(46%、患者55人、無症状病原体保有者18人)であった(表2-4)。溶血性尿毒症症候群患者は5人(3.1%)の届出があった(表2-5)。

4) 四類感染症

四類感染症では、E型肝炎、A型肝炎、エキノコックス症、回帰熱、ライム病、レジオネラ症の届出があった(表2-1)。

E型肝炎は83人の届出があり、類型別では、患者74人、無症状病原体保有者9人、年齢は24~84歳であった(表2-6)。なお、献血時の検査で罹患が判明した4人の届出があった。

エキノコックス症は25人の届出があり、性別は男性11人、女性14人、年齢は35~84歳で、70歳以上の届出が多かったが(表2-7)、成人では発症まで通常10年以上を要するとされる本疾患において、10~30歳代の届出がみられることには注意が必要である³⁻⁷⁾。

回帰熱は15人の届出があり(表2-1)、2020年の国内における届出はすべて北海道からであった。また、感染地域(推定を含む)はすべて北海道であった。

ライム病は24人の届出があり(表2-1)、感染地域(推定を含む)は北海道23人、他県1人であった。なお、国内の届出は27人であった。

レジオネラ症は44人の届出があり、性別は男性38人、女性6人、年齢は48~97歳で、60歳以上の届出が多かった(表2-8)。

5) 五類感染症

五類感染症では、アメーバ赤痢、ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症、急性脳炎(ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く)、クリプトスポリジウム症、クロイツフェルト・ヤコブ病、劇症型溶血性レンサ球菌感染症、後天性免疫不全症候群、侵襲性インフルエンザ菌感染症、侵襲性髄膜炎菌感染症、侵襲性肺炎球菌感染症、水痘(入院例に限る)、梅毒、播種性クリプトコッ

クス症、破傷風、バンコマイシン耐性腸球菌感染症、百日咳、風しん、薬剤耐性アシネトバクター感染症の届出があった(表2-1)。

急性脳炎は14人の届出があり、原因とする病原体はインフルエンザウイルス2人、ヘルペスウイルス2人、病原体不明10人であった(表2-9)。性別は男性8人、女性6人、年齢は1~72歳で、10歳未満の届出が10人(71%)であった(表2-10)。

後天性免疫不全症候群は22人の届出があり、病型別では無症候性キャリア16人、AIDS5人、その他1人、性別は男性21人、女性1人であった(表2-11)。年齢は21~68歳で、20~40歳代の届出が多かった。推定感染地域は15人が日本国内、推定感染経路としては同性間性行為感染が14人(64%)、異性間性行為感染4人(18%)、不明4人(18%)であった。

侵襲性肺炎球菌感染症は53人の届出があった。年齢は0~91歳で、70歳以上が29人(55%)であった(表2-12)。2013年4月から小児へのワクチン定期接種が開始されたのに続き⁸⁾、2014年10月からは65歳以上の高齢者へのワクチン定期接種が開始されている⁹⁾。小児のワクチン定期接種対象者の届出11人のうちワクチン接種歴ありは10人、不明1人であった。また、65歳以上の届出33人のうちワクチン接種歴ありは4人のみで、接種歴なし11人、不明18人であった。

梅毒は123人の届出があり、病型別では早期顕症梅毒(I期)46人、早期顕症梅毒(II期)37人、晩期顕症梅毒4人、無症状病原体保有者36人、先天梅毒の届出はなかった(表2-13)。性別は男性77人、女性46人、年齢は17~93歳で、男性は20歳代から50歳代、女性は20歳代の届出が多かった。推定感染経路としては、男女ともに異性間性的接触が多かった。

風しんは2018年に29人、2019年に43人の届出があったが、2020年は第2週と第3週にそれぞれ1人の届出があったのみであった(表2-14)。

2. 定点把握疾患(週報)

定点把握疾患(週報)の報告状況について、表3-1、3-2、図1-1~1-15に示した。

インフルエンザの定点における2020年の年間患者報告数は、過去3年と比較して最も少なかった(表3-1)。定点当たり1週間の患者報告数は、2019-2020シーズンについては、2019年第42週に流行開始の目安となる1.00人を超え⁷⁾、第50週にシーズン最多の29.77人になった(表3-2)。その後年末年始にかけて減少したが2020年第4週に増加に転じ、第8週にピークを迎えた後急激に減少し、第12週には1.00人を下回った。また、2020-2021シーズンは、2020年内に1.00を超えることはなかった(図1-1)。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点における2020年の年間患者報告数は、過去3年と比較して最も少なかった(表3-1)。例年、学校の休みにあたる3月後半(13週間後)から4月前半、大型連休の5月初旬、夏休みの8月に報告

の谷が認められ、秋から年末に向けて報告が増加するが、2020年は2月後半（第8週）をピークとして急激に減少し、その後ほとんど増加しなかった（図1-2）。

RSウイルス感染症の定点における2020年の年間患者報告数は、過去3年と比較して最も少なかった（表3-1）。前年の2019年第51週をピークとして減少し、その後ほとんど増加しなかった（図1-3）。

ヘルパンギーナの定点における2020年の患者報告数は、過去3年と比較して最も少なかった（表3-1）。例年8～9月に報告数が増加するが、2020年はほとんど報告がなかった（図1-4）。

咽頭結膜熱の定点における2020年の患者報告数は、過去3年と比較して最も少なかった（表3-1）。例年夏と冬に報告数が増加する傾向があるが^{s10)}、2020年は11～12月にだけ増加がみられた（図1-5）。

感染性胃腸炎の定点における2020年の患者報告数は、過去3年と比較して最も少なかった（表3-1）。例年春と冬に報告数が増加する傾向があるが、2020年は1～2月に増加したものの、その後ほとんど増加しなかった（図1-6）。また、全国と比較して患者報告数が少ない傾向が続いている（図1-6）。

手足口病の定点における2020年の患者報告数は、過去3年と比較して最も少なかった（表3-1）。近年2年周期で流行が認められており（図1-7）、2019年に大きな流行があったため2020年の報告数は減少することが予想される年ではあるが、2020年の報告数は前年の1.4%程度に激減した（表3-1）。

水痘の定点における2020年の患者報告数は、過去3年と比較して最も少なかった（表3-1）。2014年10月1日から生後12～36月の小児を対象としたワクチンの定期接種

が始まり⁹⁾、2015年以降の患者報告数は全体的に減少している（表3-1、図1-8）。

伝染性紅斑は、4～6年周期で流行を繰り返す傾向がある¹¹⁾。2020年は2019年の流行に引き続き、1月をピークとして報告があり、その後急激に減少した（表3-2、図1-9）。

突発性発しんは、例年と同程度の報告数であった（表3-1、図1-10）。

流行性耳下腺炎は、3～5年周期で流行を繰り返す傾向があるが^{s12)}、2020年には大きな流行はなかった（図1-11）。

急性出血性結膜炎は、前年に引き続き散発的な発生が認められた（図1-12）。

流行性角結膜炎は、8月を中心とした夏に多いとされているが^{s13)}、2020年は2～3月に報告が増加した（図1-13）。

クラミジア肺炎の報告は、第15週の1人のみであった（表3-1、3-2）。

マイコプラズマ肺炎の定点における2020年の患者報告数は、過去3年と比較して最も少なかった（表3-1）。

ロタウイルスによる感染性胃腸炎の定点における2020年の患者報告数は、過去3年と比較して最も少なかった（表3-1）。北海道では例年3月から6月にかけて流行が認められるが2020年はほとんど報告がなかった（図1-15）。

細菌性髄膜炎及び無菌性髄膜炎は、散発的な発生が認められた（表3-2）。

3. 定点把握疾患（月報）

定点把握疾患（月報）の報告状況について、表4-1～4-5に示した。

ペニシリン耐性肺炎球菌感染症は1人、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症は477人、薬剤耐性緑膿菌感染症は7人の報告があった（表4-1）。なお、月別の報告数に大き

表3-1 定点把握疾患（週報・インフルエンザ・小児科・眼科・基幹）報告数

定点名	疾患名	2017年	2018年	2019年	2020年
インフルエンザ定点	インフルエンザ	58,586	90,777	91,523	27,014
小児科定点	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	25,911	26,005	23,777	10,551
	RSウイルス感染症	6,346	6,795	7,233	934
	ヘルパンギーナ	2,868	3,384	3,273	289
	咽頭結膜熱	10,469	4,031	3,210	2,042
	感染性胃腸炎	18,276	15,941	18,198	6,506
	手足口病	13,968	7,541	16,603	240
	水痘	3,236	2,659	2,470	1,345
	伝染性紅斑	257	441	4,485	1,451
	突発性発しん	2,051	1,894	1,735	1,838
	流行性耳下腺炎	1,843	509	350	202
眼科定点	急性出血性結膜炎	14	20	7	9
	流行性角結膜炎	638	755	682	473
基幹定点	クラミジア肺炎	1		4	1
	マイコプラズマ肺炎	319	484	738	223
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）	213	185	340	30
	細菌性髄膜炎	13	14	8	9
	無菌性髄膜炎	55	15	15	9

表 3-2 定点把握疾患（週報・インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点） 定点当たり週別報告数（2020 年）

報告週	インフルエンザ	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	RSウイルス感染症	ヘルパンギーナ	咽頭結膜熱	感染性胃腸炎	手足口病	水痘	伝染性紅斑	突発性発しん	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	クラミジア肺炎	マイコプラズマ肺炎	感染性胃腸炎（ロタウイルス）	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎
1 週	19.23	1.02	0.86	0.02	0.24	1.11	0.03	0.31	0.31	0.03	0.00	0.00	0.18	0.00	0.24	0.00	0.00	0.05
2 週	10.74	2.68	0.94	0.01	0.60	2.25	0.07	0.59	1.36	0.22	0.02	0.00	0.55	0.00	0.91	0.00	0.00	0.00
3 週	7.60	2.49	0.74	0.02	0.39	2.07	0.04	0.27	1.21	0.20	0.05	0.03	0.41	0.00	0.43	0.04	0.00	0.04
4 週	8.88	3.64	0.88	0.00	0.46	2.62	0.01	0.28	1.33	0.21	0.06	0.03	0.48	0.00	0.48	0.30	0.04	0.04
5 週	10.75	4.57	0.54	0.03	0.45	2.93	0.02	0.20	1.05	0.18	0.01	0.00	0.62	0.00	0.65	0.17	0.04	0.09
6 週	12.92	5.37	0.60	0.01	0.59	2.67	0.02	0.45	0.56	0.18	0.04	0.00	1.03	0.00	0.52	0.22	0.00	0.00
7 週	16.38	4.67	0.54	0.03	0.53	2.64	0.01	0.30	0.64	0.21	0.01	0.00	1.52	0.00	0.26	0.00	0.04	0.00
8 週	17.57	5.40	0.39	0.01	0.59	2.41	0.03	0.59	0.66	0.22	0.02	0.00	1.66	0.00	0.57	0.00	0.00	0.00
9 週	13.81	4.20	0.39	0.03	0.46	1.19	0.01	0.34	0.49	0.10	0.03	0.00	0.97	0.00	0.61	0.00	0.00	0.00
10 週	3.85	2.55	0.32	0.01	0.37	0.89	0.04	0.36	0.43	0.14	0.04	0.00	1.00	0.00	0.52	0.00	0.00	0.00
11 週	1.00	1.75	0.09	0.01	0.30	0.76	0.00	0.35	0.41	0.12	0.03	0.00	0.38	0.00	0.30	0.09	0.00	0.00
12 週	0.46	1.22	0.10	0.01	0.17	0.47	0.02	0.18	0.45	0.19	0.01	0.00	0.31	0.00	0.13	0.00	0.00	0.00
13 週	0.24	1.14	0.01	0.01	0.12	0.58	0.01	0.22	0.42	0.15	0.03	0.00	0.10	0.00	0.09	0.00	0.09	0.00
14 週	0.14	1.15	0.01	0.01	0.13	0.47	0.00	0.07	0.33	0.20	0.04	0.07	0.14	0.00	0.22	0.04	0.00	0.00
15 週	0.03	1.16	0.02	0.01	0.13	0.64	0.02	0.17	0.16	0.17	0.02	0.10	0.28	0.04	0.35	0.00	0.00	0.00
16 週	0.09	1.28	0.02	0.00	0.06	0.35	0.02	0.13	0.16	0.22	0.03	0.00	0.10	0.00	0.09	0.00	0.00	0.00
17 週	0.04	0.89	0.01	0.00	0.10	0.30	0.02	0.09	0.08	0.35	0.04	0.00	0.10	0.00	0.17	0.00	0.00	0.00
18 週	0.01	0.68	0.00	0.00	0.14	0.37	0.01	0.10	0.07	0.27	0.03	0.00	0.10	0.00	0.09	0.00	0.00	0.00
19 週	0.02	0.45	0.01	0.00	0.11	0.25	0.01	0.07	0.03	0.11	0.01	0.00	0.10	0.00	0.09	0.00	0.00	0.00
20 週	0.01	0.63	0.00	0.00	0.15	0.28	0.04	0.05	0.03	0.19	0.01	0.00	0.10	0.00	0.04	0.04	0.04	0.00
21 週	0.01	0.58	0.01	0.01	0.12	0.32	0.03	0.09	0.03	0.24	0.01	0.00	0.03	0.00	0.00	0.04	0.00	0.00
22 週	0.00	0.55	0.03	0.01	0.12	0.36	0.02	0.06	0.05	0.32	0.01	0.00	0.31	0.00	0.22	0.00	0.00	0.00
23 週	0.00	0.63	0.05	0.03	0.18	0.47	0.04	0.03	0.03	0.39	0.01	0.00	0.14	0.00	0.13	0.00	0.04	0.00
24 週	0.00	0.73	0.01	0.01	0.17	0.75	0.03	0.04	0.02	0.46	0.02	0.00	0.07	0.00	0.09	0.00	0.00	0.04
25 週	0.00	0.83	0.03	0.01	0.20	0.72	0.04	0.08	0.01	0.43	0.03	0.00	0.07	0.00	0.04	0.04	0.00	0.00
26 週	0.00	1.16	0.01	0.02	0.20	0.77	0.02	0.09	0.01	0.44	0.03	0.00	0.14	0.00	0.09	0.00	0.00	0.00
27 週	0.00	1.08	0.03	0.01	0.23	0.68	0.07	0.10	0.01	0.38	0.06	0.00	0.24	0.00	0.00	0.04	0.00	0.04
28 週	0.00	1.02	0.04	0.01	0.20	0.71	0.07	0.13	0.00	0.29	0.04	0.00	0.24	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
29 週	0.00	0.82	0.00	0.05	0.22	0.61	0.05	0.12	0.01	0.36	0.02	0.03	0.24	0.00	0.17	0.00	0.00	0.00
30 週	0.00	0.59	0.00	0.05	0.20	0.49	0.07	0.09	0.01	0.29	0.04	0.00	0.03	0.00	0.17	0.00	0.04	0.00
31 週	0.00	0.72	0.01	0.02	0.16	0.71	0.09	0.12	0.03	0.28	0.07	0.00	0.21	0.00	0.09	0.04	0.00	0.00
32 週	0.00	0.59	0.00	0.03	0.29	0.82	0.09	0.12	0.01	0.32	0.04	0.00	0.38	0.00	0.04	0.00	0.04	0.00
33 週	0.00	0.36	0.00	0.02	0.28	0.39	0.11	0.08	0.01	0.20	0.02	0.00	0.21	0.00	0.09	0.00	0.00	0.00
34 週	0.00	0.56	0.01	0.01	0.33	0.74	0.06	0.12	0.01	0.33	0.06	0.03	0.34	0.00	0.09	0.00	0.00	0.00
35 週	0.00	0.65	0.01	0.19	0.19	0.73	0.07	0.07	0.01	0.35	0.04	0.00	0.48	0.00	0.13	0.09	0.00	0.00
36 週	0.00	0.77	0.01	0.22	0.26	0.77	0.06	0.07	0.00	0.37	0.05	0.00	0.41	0.00	0.04	0.00	0.00	0.00
37 週	0.00	0.61	0.00	0.26	0.26	0.68	0.08	0.08	0.00	0.33	0.01	0.00	0.31	0.00	0.04	0.00	0.00	0.04
38 週	0.00	0.78	0.02	0.09	0.20	0.74	0.05	0.14	0.01	0.45	0.03	0.00	0.28	0.00	0.00	0.04	0.00	0.00
39 週	0.00	0.64	0.01	0.10	0.13	0.53	0.02	0.06	0.01	0.17	0.01	0.00	0.07	0.00	0.09	0.04	0.00	0.00
40 週	0.00	1.09	0.00	0.06	0.18	0.66	0.01	0.10	0.00	0.32	0.02	0.00	0.17	0.00	0.13	0.04	0.00	0.00
41 週	0.01	1.33	0.01	0.11	0.14	0.57	0.01	0.15	0.01	0.24	0.01	0.00	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
42 週	0.00	1.32	0.00	0.06	0.33	0.62	0.04	0.15	0.00	0.30	0.05	0.00	0.21	0.00	0.09	0.00	0.00	0.04
43 週	0.00	1.14	0.05	0.12	0.29	0.72	0.01	0.16	0.04	0.22	0.02	0.00	0.21	0.00	0.17	0.00	0.00	0.00
44 週	0.00	1.06	0.00	0.15	0.31	0.73	0.03	0.26	0.01	0.28	0.06	0.00	0.38	0.00	0.09	0.00	0.00	0.00
45 週	0.00	1.09	0.01	0.14	0.40	0.87	0.03	0.15	0.00	0.21	0.01	0.00	0.07	0.00	0.09	0.00	0.00	0.00
46 週	0.01	1.12	0.02	0.03	0.48	0.82	0.02	0.19	0.00	0.31	0.03	0.00	0.07	0.00	0.22	0.00	0.00	0.00
47 週	0.01	1.19	0.03	0.03	0.41	0.90	0.01	0.26	0.01	0.25	0.01	0.00	0.07	0.00	0.26	0.00	0.00	0.00
48 週	0.00	0.92	0.00	0.00	0.34	0.78	0.00	0.32	0.00	0.19	0.01	0.00	0.14	0.00	0.09	0.00	0.00	0.00
49 週	0.01	1.21	0.01	0.00	0.50	0.63	0.01	0.28	0.01	0.18	0.02	0.00	0.17	0.00	0.13	0.00	0.00	0.00
50 週	0.02	1.20	0.00	0.00	0.54	0.79	0.01	0.24	0.01	0.18	0.02	0.00	0.07	0.00	0.04	0.00	0.00	0.00
51 週	0.00	1.41	0.01	0.00	0.35	0.70	0.01	0.24	0.00	0.21	0.03	0.00	0.07	0.00	0.09	0.00	0.00	0.00
52 週	0.00	1.09	0.01	0.01	0.26	0.64	0.01	0.26	0.01	0.24	0.02	0.00	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
53 週	0.01	0.46	0.01	0.01	0.23	0.42	0.00	0.15	0.01	0.06	0.01	0.00	0.00	0.00	0.04	0.00	0.00	0.00
平均	2.30	1.44	0.13	0.04	0.28	0.89	0.03	0.18	0.20	0.25	0.03	0.01	0.31	0.00	0.18	0.02	0.01	0.01

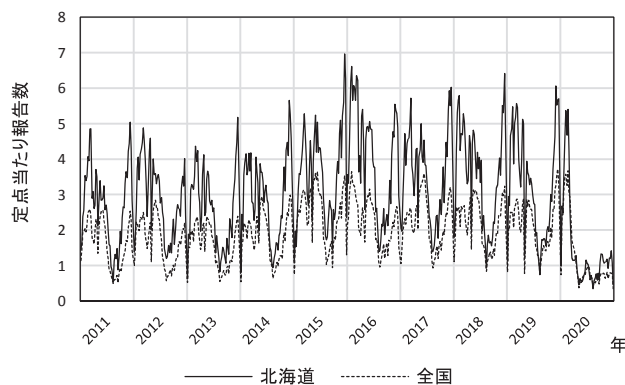
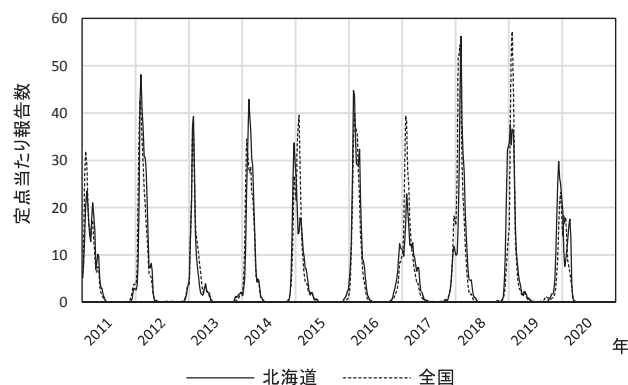
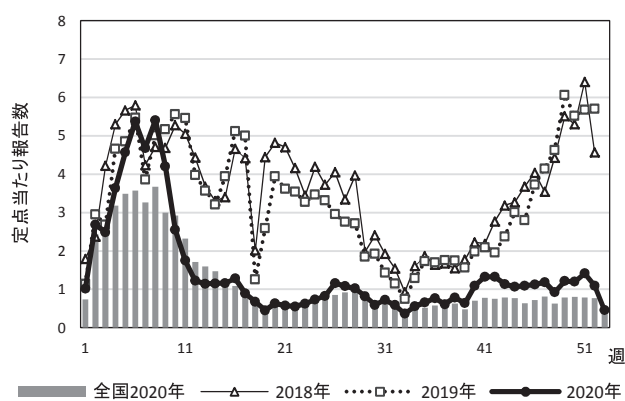
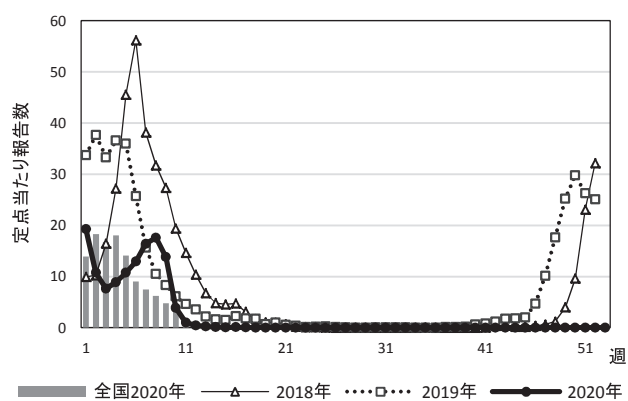


図 1-1 インフルエンザ定点当たり報告数

図 1-2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎定点当たり報告数

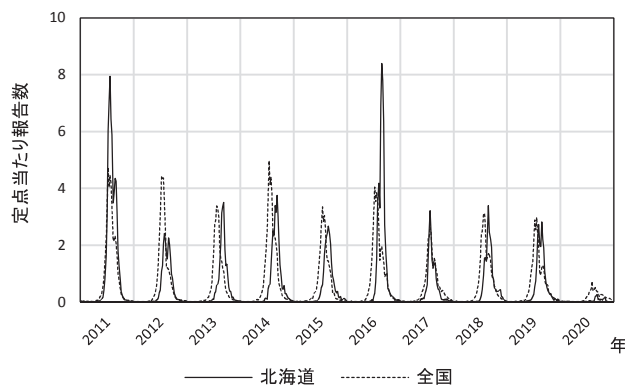
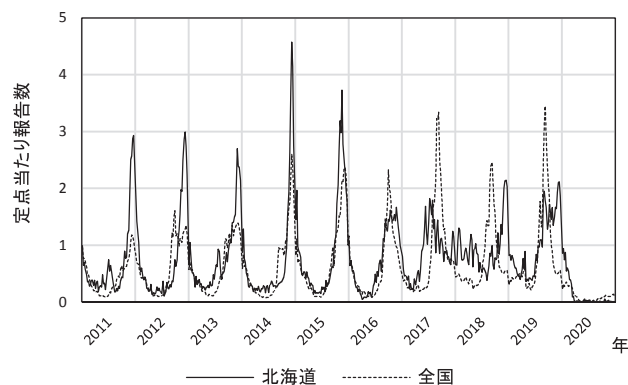
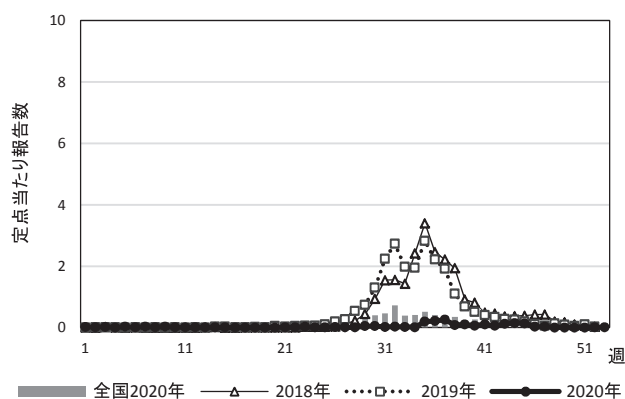
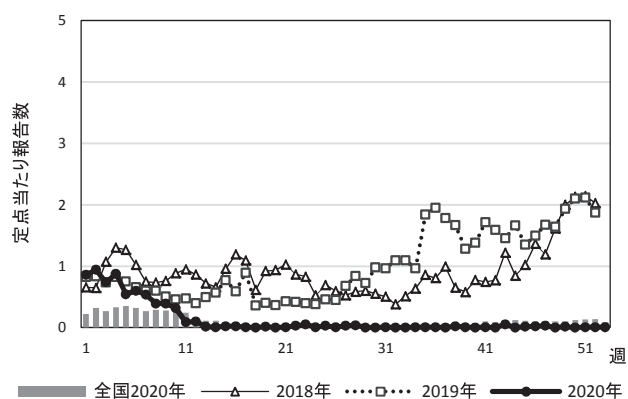


図 1-3 RS ウイルス感染症定点当たり報告数

図 1-4 ヘルパンギーナ定点当たり報告数

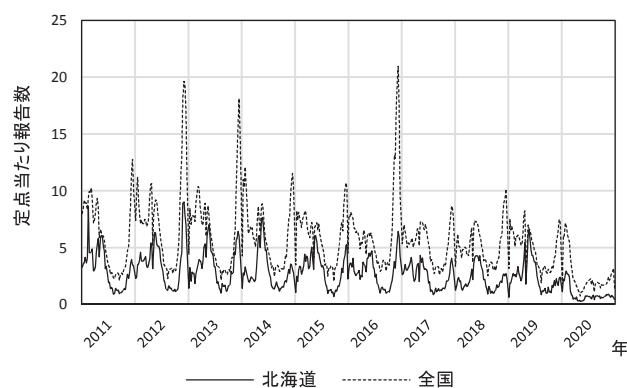
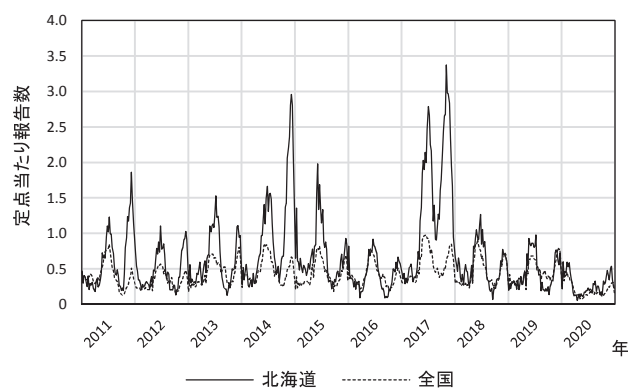
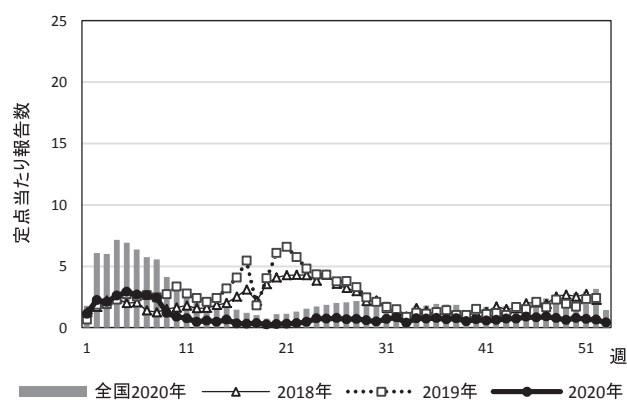
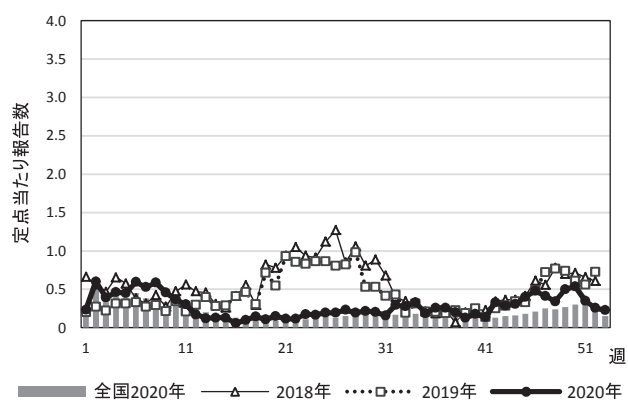


図 1-5 咽頭結膜熱定ポイントあたり報告数

図 1-6 感染性胃腸炎定ポイントあたり報告数

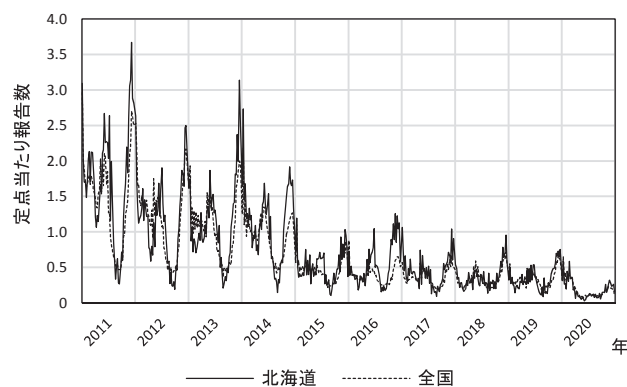
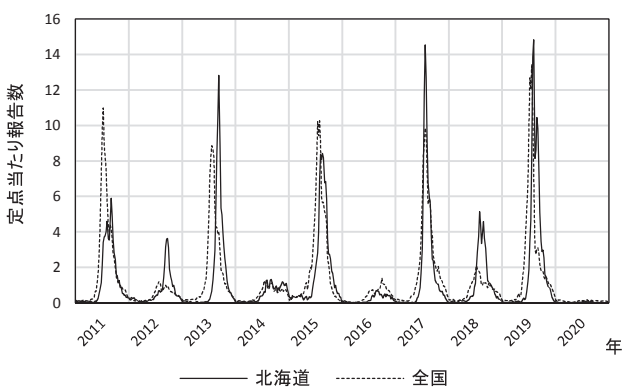
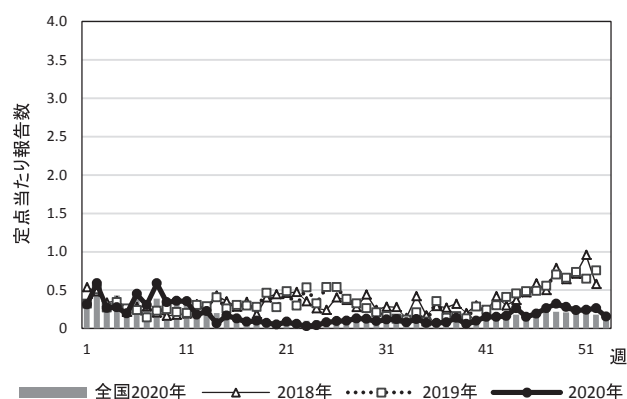
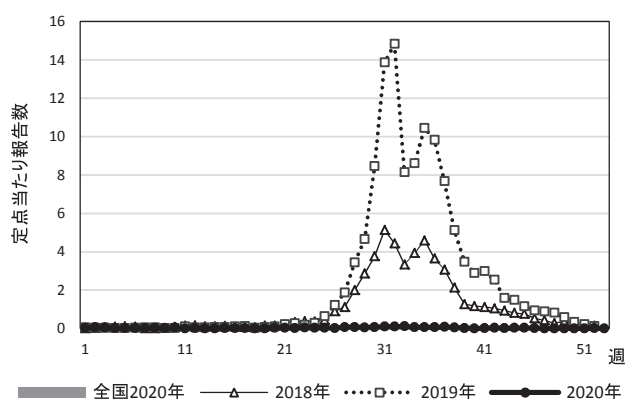


図 1-7 手足口病定ポイントあたり報告数

図 1-8 水痘定ポイントあたり報告数

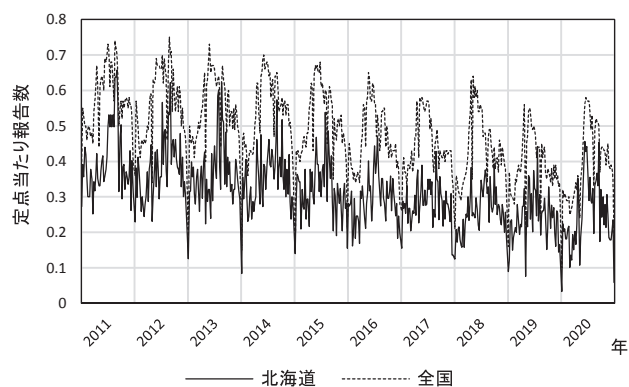
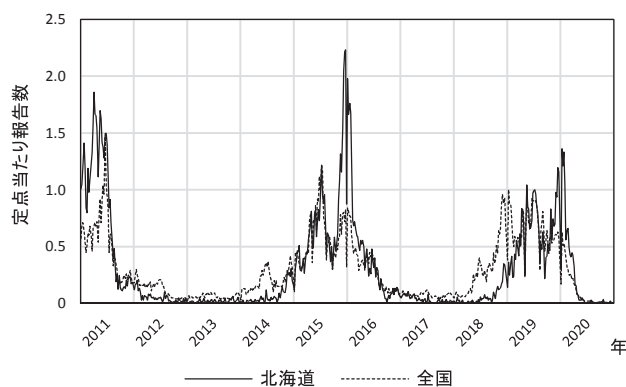
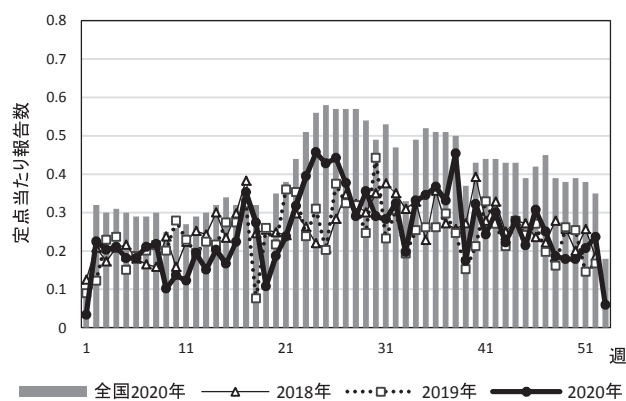
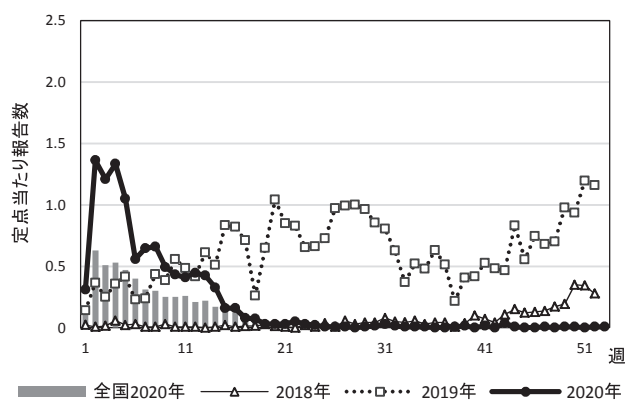


図 1-9 伝染性紅斑定ポイント当り報告数

図 1-10 突発性発しん定ポイント当り報告数

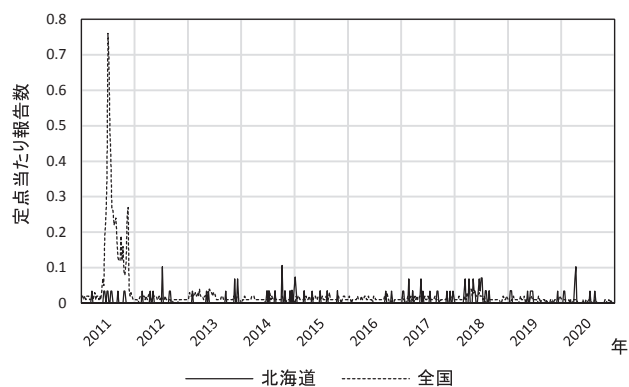
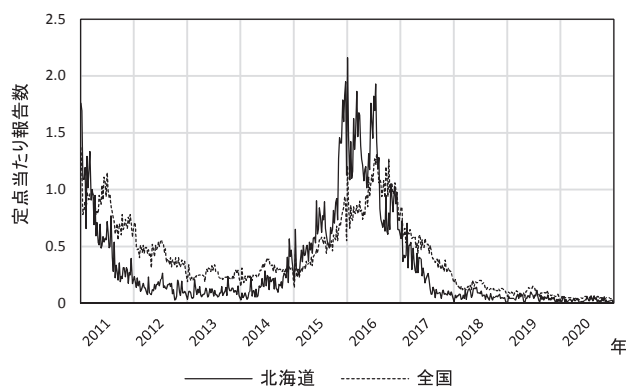
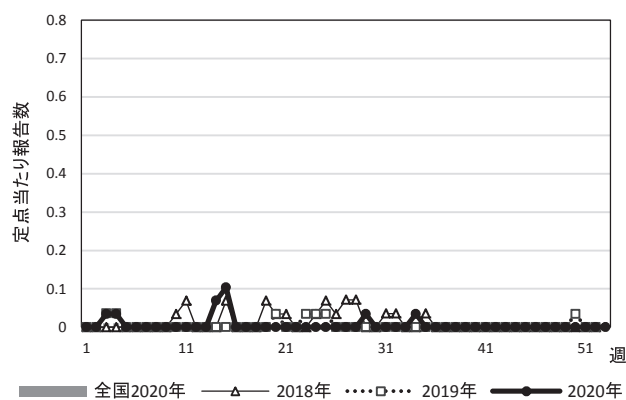
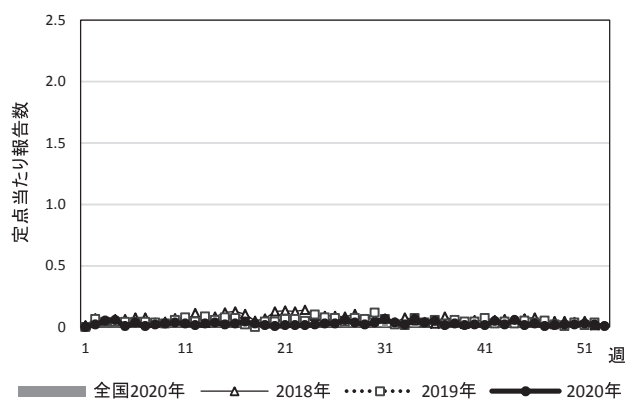


図 1-11 流行性耳下腺炎定ポイント当り報告数

図 1-12 急性出血性結膜炎定ポイント当り報告数

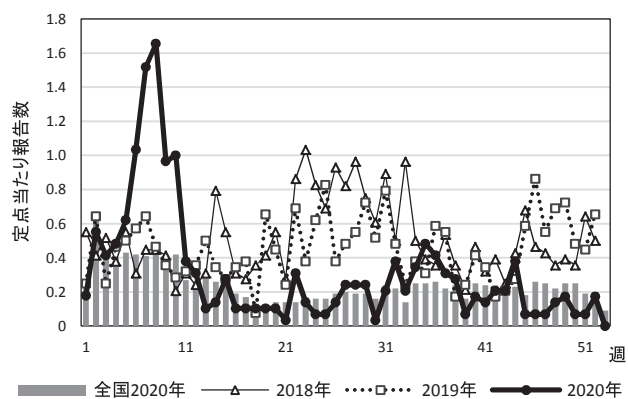


図 1-13 流行性角結膜炎定点当たり報告数

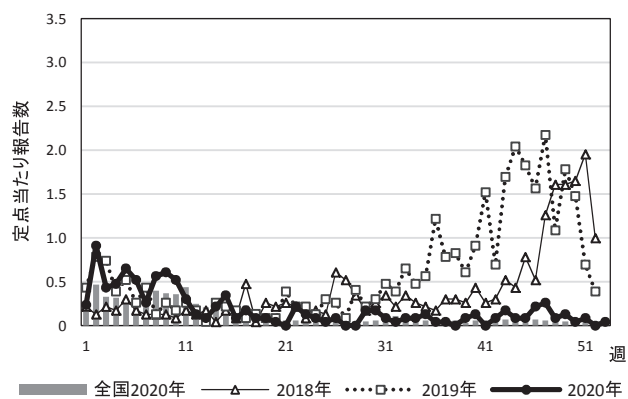


図 1-14 マイコプラズマ肺炎定点当たり報告数

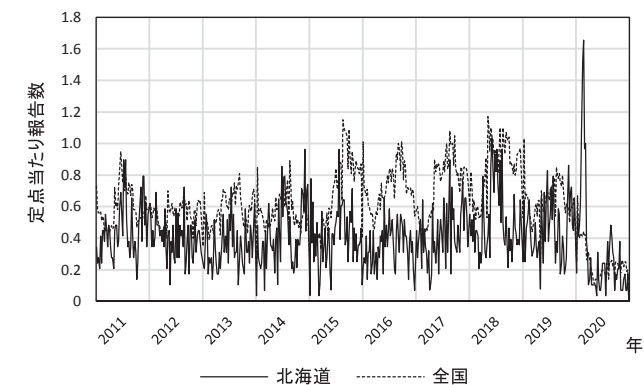
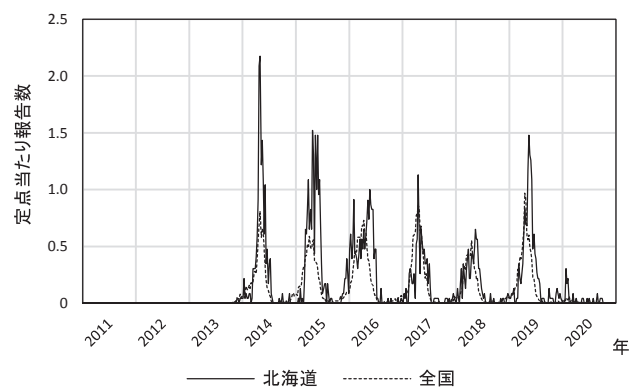
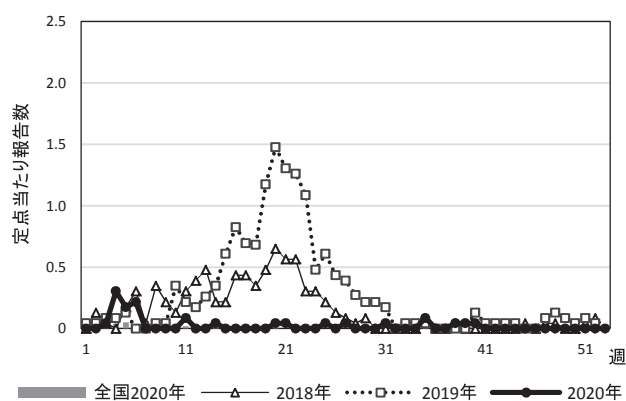


図 1-15 感染性胃腸炎（ロタ）*定点当たり報告数



*：2013 年 10 月 14 日から五類（定点把握対象）に追加指定

表 4-1 定点把握疾患（月報・基幹定点） 報告数

定点名	疾患名	2017 年	2018 年	2019 年	2020 年
基幹定点	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	14	18	19	1
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	625	569	623	477
	薬剤耐性緑膿菌感染症		3	4	7

表 4-2 定点把握疾患（月報・基幹定点） 月別報告数（2020 年）

	疾患名	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
報告数	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症			1									
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	32	45	46	40	33	35	39	44	32	44	45	42
	薬剤耐性緑膿菌感染症	1			2		1				1	1	1
定点 当たり	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0.00	0.00	0.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1.39	1.96	2.09	1.74	1.43	1.52	1.70	1.91	1.39	1.91	1.96	1.83
	薬剤耐性緑膿菌感染症	0.04	0.00	0.00	0.09	0.00	0.04	0.00	0.00	0.00	0.04	0.04	0.04

表 4-3 定点把握疾患（月報・性感染症定点） 報告数

定点名	疾患名	2017 年	2018 年	2019 年	2020 年
性感染症定点	性器クラミジア感染症	1,881	1,985	2,045	1,993
	性器ヘルペスウイルス感染症	540	541	619	498
	尖圭コンジローマ	238	264	271	208
	淋菌感染症	428	567	527	507

表 4-4 定点把握疾患（月報・性感染症定点） 月別報告数（2020 年）

	疾患名	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
報告数	性器クラミジア感染症	159	169	161	154	148	164	152	169	163	187	164	203
	性器ヘルペスウイルス感染症	49	46	48	60	15	33	36	48	42	50	37	34
	尖圭コンジローマ	16	9	24	10	23	19	20	14	21	16	12	24
	淋菌感染症	44	33	37	46	27	37	42	57	54	43	43	44
定点 当たり	性器クラミジア感染症	3.79	4.02	3.93	3.67	3.52	3.90	3.62	4.02	3.88	4.45	3.90	4.83
	性器ヘルペスウイルス感染症	1.17	1.10	1.17	1.43	0.36	0.79	0.86	1.14	1.00	1.19	0.88	0.81
	尖圭コンジローマ	0.38	0.21	0.59	0.24	0.55	0.45	0.48	0.33	0.50	0.38	0.29	0.57
	淋菌感染症	1.05	0.79	0.90	1.10	0.64	0.88	1.00	1.36	1.29	1.02	1.02	1.05

表 4-5 定点把握疾患（月報・性感染症） 年齢階級別（2020 年）

年齢階級	性器クラミジア 感染症			性器ヘルペス ウイルス感染症			尖圭コンジローマ			淋菌感染症		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
0 歳												
1～9 歳											1	1
10～19 歳	48	182	230	4	12	16	3	8	11	25	34	59
20～29 歳	298	905	1,203	25	105	130	35	42	77	124	125	249
30～39 歳	135	232	367	23	88	111	33	29	62	84	30	114
40～49 歳	70	77	147	22	84	106	19	9	28	48	13	61
50～59 歳	24	12	36	36	39	75	13	4	17	14	4	18
60～69 歳	7	1	8	9	24	33	9		9	4	1	5
70 歳以上	2		2	10	17	27	2	2	4			
合 計	584	1,409	1,993	129	369	498	114	94	208	299	208	507
男女比	1.00	2.41		1.00	2.86		1.00	0.82		1.00	0.70	

な変動は見られなかった（表4-2）。

性感染症については、すべての対象疾患で定点における報告数が前年より減少した（表4-3）。なお、月別の報告数に大きな変動は見られなかった（表4-4）。性器クラミジア感染症と性器ヘルペスウイルス感染症については、女性の報告数が多く、尖圭コンジローマと淋菌感染症は男性の報告数が多かった（表4-5）。年齢別では、性器ヘルペスウイルス感染症の男性を除き20歳代の報告が多かった（表4-5）。

以上、北海道における2020年の感染症発生動向について報告した。保健所ごとの詳細なデータについては、当所ホームページ¹⁴⁾を参照されたい。

本報告を終えるにあたり、感染症発生動向調査にご協力頂いている医療機関ならびに関係機関各位に深謝いたします。

文 献

- 1) 厚生労働省ホームページ：感染症法に基づく医師の届出のお願い，感染症発生動向調査事業実施要綱，https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/kekaku-kansenshou11/01.html（確認：2021年6月25日）
- 2) 中野道晴，市橋大山，長野秀樹，扇谷陽子，宮田 淳，岡野素彦：地方感染症情報センターにおける患者情報集計，解析業務を支援する情報ツール．北海道公衆衛生学雑誌，28（2），147-150（2014）
- 3) 久保田晶子，中野道晴，市橋大山，長野秀樹，岡野素彦：北海道における感染症発生動向調査について（2015年）．道衛研所報，66，115-128（2016）
- 4) 後藤明子，市橋大山，中野道晴，久保田晶子，長野秀樹，岡野素彦：北海道における感染症発生動向調査について（2016年）．道衛研所報，67，127-141（2017）
- 5) 後藤明子，市橋大山，駒込理佳，中野道晴，長野秀樹，岡野素彦：北海道における感染症発生動向調査について（2017年）．道衛研所報，68，63-77（2018）
- 6) 市橋大山，後藤明子，大久保和洋，駒込理佳，長野秀樹：北海道における感染症発生動向調査について（2018年）．道衛研所報，69，101-114（2019）
- 7) 市橋大山，大久保和洋，山口宏樹，後藤明子，長野秀樹：北海道における感染症発生動向調査について（2019年）．道衛研所報，70，91-105（2020）
- 8) 厚生労働省健康局長通知健発0330第1号「予防接種法の一部を改正する法律の施行等について」，平成25年3月30日
- 9) 厚生労働省健康局長通知健発0716第24号「予防接種法施行令の一部を改正する政令並びに予防接種法施行規則及び予防接種実施規則の一部を改正する省令の施行について」，平成26年7月16日
- 10) 国立感染症研究所感染症疫学センターホームページ：咽頭結膜熱とは，<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/323-pcf-intro.html>（確認：2021年6月25日）
- 11) 国立感染症研究所感染症疫学センターホームページ：伝染性紅斑とは，<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/443-5th-disease.html>（確認：2021年6月25日）
- 12) 国立感染症研究所感染症疫学センターホームページ：流行性耳下腺炎（ムンプス，おたふくかぜ），<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/529-mumps.html>（確認：2021年6月25日）
- 13) 国立感染症研究所感染症疫学センターホームページ：流行性角結膜炎とは，<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/528-ekc.html>（確認：2021年6月25日）
- 14) 北海道立衛生研究所ホームページ：北海道感染症情報センター，<http://www.iph.pref.hokkaido.jp/kansen/index.html>（確認：2021年6月25日）